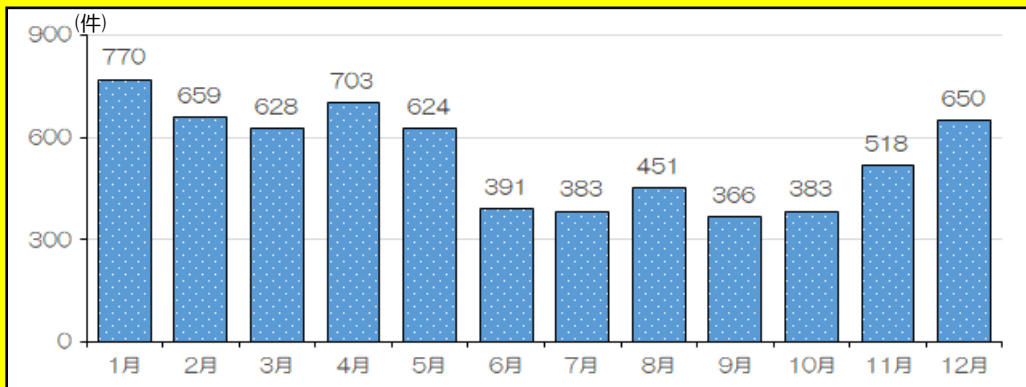


たばこによる火災が多発しています!!

年別	合計	建物					車両	林野	その他	死者	負傷者
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや					
平成29年	691	370	4	11	99	256	10	-	311	18	88
平成30年	651	366	4	15	104	243	13	-	272	26	92
令和元年	689	374	5	14	101	254	19	1	295	35	77
令和2年	508	291	5	10	75	201	10	-	207	13	65
令和3年	581	308	7	7	79	215	13	-	260	15	90
前年同期比	<u>73</u>	<u>17</u>	2	▼3	4	14	3	-	<u>53</u>	2	25

注 表内の令和3年中の数値は概数値であり、確定値ではありません。



最近10年間のたばこ火災月別件数 (平成24年から令和3年まで)

【火災状況】

令和3年は前年と比べて、たばこによる火災が増加し、特に、屋外での吸い殻の投げ捨てによる火災が増えています。

喫煙する際は、たばこの投げ捨てや灰皿がない場所での喫煙はやめましょう!!



死者が発生した火災事例

【事例1】

共同住宅の居住者は、**火種が残った吸い殻を**ごみ箱に捨てたため、ごみくずに着火し、火災となりました。



事例1 焼損状況

【事例2】

長屋兼共同住宅の居住者が喫煙中、**たばこの火種が布団上に落下**し無炎燃焼を続けたのち、収容物に延焼し火災となりました。

また、この居室には**住宅用火災警報器**が設置されていませんでした。



事例2 焼損状況

火災を防ぐポイント



たばこによる火災は、すぐに燃え上がりずばらく無炎燃焼（炎を出さずに燃え広がる）を続け、出火します。また、焼損面積が少ない火災でも、一酸化炭素中毒で死者が発生しています。

就寝前や外出前のたばこ、吸い殻の捨て方に注意しましょう。



【屋内】

- (1) 寝たばこは絶対にやめましょう！
- (2) くわえたばこで作業をしたり、火のついたたばこを手を持ったまま歩き回らないようにしましょう！
- (3) 灰皿の吸い殻は、こまめに清掃しましょう！
- (4) 吸い殻は、水につけるなど、完全に消えたことを確認した後に廃棄しましょう！

【屋外】

- (5) たばこの投げ捨てや灰皿がない場所での喫煙はやめましょう！
- (6) 喫煙場所に指定されている場所で喫煙しましょう！
- (7) 条例で路上喫煙が禁止されている自治体もあります。各自自治体のルールを守りましょう！

